

展示品リスト②

壁展示

- 「第3回コミックマーケット配置図」(1976, 個人蔵)
「第4回「コミックマーケット」ポスター」(絵: 高橋祐子, 1976, 個人蔵)
※展示期間: 10/1~11/29
「第5回「コミックマーケット」ポスター」(絵: さべあのみ, 1977, 個人蔵)
※展示期間: 10/1~11/29
「「Comic market in 一橋祭」ポスター」(1978, 個人蔵)
※展示期間: 12/1~1/30
「第10回「コミックマーケット」ポスター」(絵: 朔原萌, 1978, 個人蔵)
※展示期間: 12/1~1/30
パネル「コミックマーケットの拡大と会場の変遷」(2010)

同人誌と印刷 (テーブル型ケース展示作品)

- 「ガリ版印刷用具一式 (ポータブルタイプ)」(個人蔵)
「ガリ版用原紙」「ガリ版用鉄筆」「ガリ版用ローラー」(個人蔵)
肉筆同人誌「SSM 185」(作画グループ, 1985, 個人蔵) ※展示期間: 10/1~11/29
肉筆同人誌「SSM 109 極道伝」(山本晃, 作画グループ, 1982, 個人蔵) ※展示期間: 12/1~1/30
ガリ版刷り同人誌「CRAFT-MAGAZINE MOB No. 5 '76 NOVEMBER」
(MOB 企画海賊出版部, 1976, 個人蔵)
青焼きコピー誌「METROPOLIS "MAGNIFICENT SEVEN"」(手塚治虫ファンクラブ「東京」)
普通紙コピー同人誌「天津甘栗」(丹下拳闘倶楽部, 1998)
オフセット印刷同人誌「ルイス=ドッジソンの日記から ぼくだけのへや」
(みにやもと, 2004)

映像展示

- DVD「伝説のマンガ月刊誌「COM」を語る 休刊38年目の座談会」
(京都国際マンガミュージアム, 2009, 個人蔵)
DVD「伝説のマンガ月刊誌「COM」を語る 1/2」(コミティア92, 2010, 個人蔵)
DVD「伝説のマンガ月刊誌「COM」を語る 2/2」(コミティア92, 2010, 個人蔵)

※発行年のないものは不明のものです。一部推定を含みます。
※表示できない文字は代替の文字を入力しています。

謝辞

展示にあたりご助言、ご協力いただいた関係者の方々に深く感謝の意を表します。
京都国際マンガミュージアム、コミックマーケット準備会、コミティア実行委員会、
作画グループ、昭和漫画館青虫、伊能正明、門倉純一、小谷真理、真田幸治、式城京太郎、
想田 四、巽 孝之、山本孝一、米澤英子
他、多くの方々にご協力いただきました。(敬称略)

展示期間

2010年10月1日(金)~2011年1月30日(日)
休館日: 毎週火・水・木曜(但し祝日の場合は開館)。
2010年11月1日(月)、12月28日(火)~2011年1月6日(木)、1月17日(月)
◎11月20日(土)は2階閲覧室が利用できません。展示室は入場できます。
◎臨時休館が入る場合もあります。当館サイトで確認されるか、開館日に電話などでお問い合わせください。
※スケジュール・内容については変更の可能性があります。
※リストにある同人誌は、展示終了後に閲覧可能です。ただし、グッズ・閲覧に装置を必要とするもの・
個人蔵および破損の恐れのある同人誌は、展示期間終了後も閲覧できません。
※関連同人誌・単行本を2階閲覧室でご覧になれます。

米沢嘉博記念図書館

2010年度 第2回 企画コーナー展示作品リスト

コミックマーケットの源流

ファンの、ファンによる、ファンのための市場は
いかに生まれたのか?

1970年代は、まんがファンが、自ら発信する場や媒体を獲得し始めた時代でした。同人誌を発行するサークルが多数出現し、商業流通の外に自分たちの市場を作りだしたのです。そしてその潮流の申し子が、1975年に誕生した「コミックマーケット」でした。今や3日間で約56万人を集める、世界最大規模の同人誌即売会へと発展したコミックマーケットは、当時、いかに生み出されたのか。

この企画展示コーナーでは、コミックマーケット準備会の初代代表、霜月たかなか氏の監修協力をもとに、初期コミックマーケットの姿を浮かび上がらせます。

